心の相談室シンポジウム Vol.12

不登校･いじめ･発達障害を考える会

「こころの声が言葉になるとき」

～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～

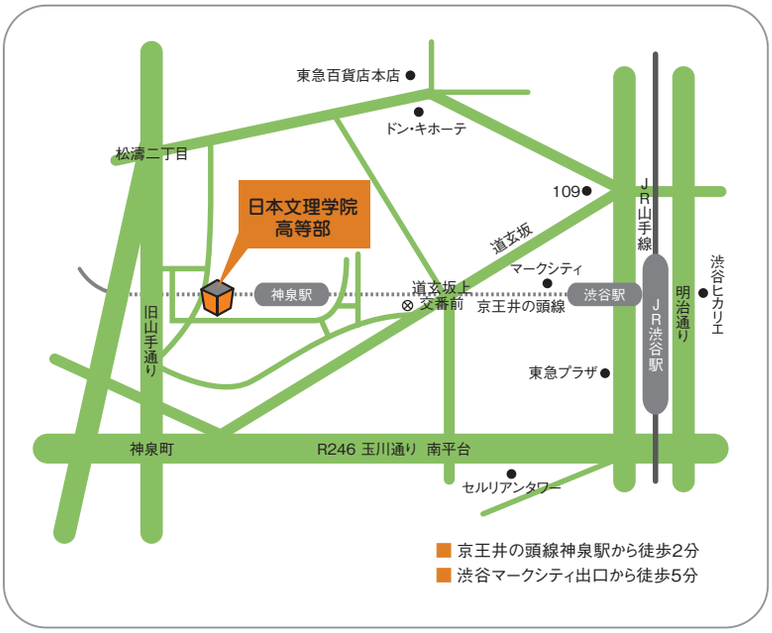
日時 ：7月2日（水）午後1:30～（受付午後1:15～）
場所 ：日本文理学院高等部 東京都渋谷区神泉町15-11
Tel:03-6455-0910㈹ Fax:03-6455-0911
講師 ：副島 賢和 先生

通信制サポート校・東京ネットワークの会員の皆様に耳よりな講演会のお誘いです。
今回の講師は、昭和大学病院内で「さいかち学級」の先生をされている副島先生にお越しいただきます。「赤鼻センセイ」でおなじみの副島先生。その赤鼻の由来とは……。病院内での現場での様子、現状で抱えている問題、対応などのお話を交えて、病棟で生活している子ども達の学びを、本音で語っていただきます。是非多くの方々にご参加いただければと思います。是非、お楽しみに。

副島 賢和 プロフィール

1966年、福岡県生まれ、昭和大学保健医療学部准教授

17年間都立公立小学校普通学級担任として勤務。99年、東京都の派遣研修で、東京学芸大学大学院にて心理学を学ぶ。2006年より品川区清水台小学校さいかち学級（昭和大学病院内）担任。現職。学校心理士。小林正幸氏（東京学芸大学大学院教授）らと共に、『チーム仕事師』のメンバーとして『みどりの東北元気キャンプ』をおこなう。共著に『学校でしかできない不登校支援と未然防止』（東洋館出版社）等。ドラマ『赤鼻のセンセイ』（日本テレビ）のモチーフとなる。その後『プロフェッショナル祖ごとの流儀』（NHK総合）にも出演。ホスピタル・クラウンの活動もしており、「パッチ・アダムス」として有名なハンター・キャンベル・アダムス氏（米国）の活動に参加している。



お申し込み

日本文理学院高等部
URL: bunri@nihon-bunri.co.jp
シンポジウムと記入の上お申し込みください。
参加費:500円
※日本文理学院関係者無料

主催：日本文理学院高等部
03-6455-0910

共催：特定非営利活動法人
特別支援教育研究所Wish
ひきこもり支援相談士認定協議会
西東京支部

協力：子どもオンブズパーソン・
せたがや教育フォーラム
三田の家2&駒場の家